

茨城県国際理解教育推進協議会  
会長 川 俣 勝 慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 茨城町立川根小学校 担当教諭名 吉原 友子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成22年10月14日(木) 11:30 ~ 14:30
対象学年と人数	1年生(45名)2年生(42名)3年生(49名)6年生(51名)
派遣講師名と出身国	タベッシュクー・ベヘルズ(イラン) 新垣 マリア(ペルー)
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・母国語のあいさつ、自己紹介</li><li>・ダンス</li><li>・ペルーの紹介(民族衣装・楽器・自然環境・学校)</li><li>・イランの紹介(位置, 宗教, 食べ物, 季節, 特産物)</li></ul>
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 低学年の児童は、異文化の方々に触れる機会が少ないので、興味津々に話を聞いたり、意欲的に活動したりできたと思います。 講師の方々もいろいろな準備をなされ、一生懸命お話されていたのですが、子ども達には日本語がよく聞き取れないところもあったように思います。
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"><li>・絵や写真などを見せながら話してくれたので、とてもわかりやすかった。</li><li>・日本語がよくできるので、驚いた。イスラム教では豚肉が食べられず、かわいそう。</li><li>・イランやペルーに行ってみたくなった。</li><li>・みんなで踊ったり、民族衣装をきたりできて楽しかった。</li><li>・国の様子がよくわかった。</li></ul>
先生の感想	<ul style="list-style-type: none"><li>・掲示物について説明することが多かったので、イランについてのクイズや実物を見せて、具体的にイランという国を理解できるとよかった。低学年には話の内容が高度だった。</li><li>・イランはアジアの西側に位置し、国土の広さや人口、歴史や宗教の違い、日本と同じように四季があることに感心を示していた。</li><li>・衣装や楽器など、準備物がたくさんあってよかった。</li><li>・ダンスはとても楽しく子ども達ものっていた。</li></ul>

